

矢部清流学園
学校だより 13号



善遊善学

学校教育目標 あるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「縁がかりの教育」の推進～

重点目標 目標に向かって粘り強く取り組む児童生徒の育成

令和7年3月19日 文責 古川 志乃



3月11日(火) 9年生 巣立ちの時……

6名の9年生が、3月11日(火)、この学び舎を巣立っていきました。9年間の様々な思い出がこみ上げてきて、言葉を詰まらせながらの答辞に…会場にいた誰もが目を潤ませました。卒業証書を手にした生徒は、一人一人に今後の抱負を語り、将来の自分の姿を思い描いていたことでしょう。卒業の歌では、前期課程の児童が「あなたにありがとう」を、後期課程は卒業生と共に、9年生が選んだ曲「YELL」を心を込めて歌いました。そして、9年生と一緒に歌う最後の校歌を、木龍(体育館) いっぱいに響かせました。ともに過ごした日々を胸に抱いて……飛び立って行ってください。未来(つぎ)の空へ。

八女市長箕原悠太郎様、矢部支所長轟晃守様、PTA 会長野中輝彦様をはじめ、矢部地区のたくさんのご来賓の方々にも出席していただき、式典に花を添えていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

9年生に贈る会 3月7日(金)

めあて「9年生の思い出に残るような集会をしよう！」

清流会執行部を中心に、各学年、役割分担し準備してきました。縦割り班でレクリエーション「宝探し」を楽しみました。そして、各学年、趣向を凝らした出し物やプレゼントを準備して、終始、笑顔いっぱいの9年生でした。

善遊科児童によるCM「ヒガシマル」の歌にのせたスペシャル登場ダンスに拍手喝采でした。5・6年生もこの「9年生に贈る会」に向けた取組をドキュメンタリー映像にして届け、7・8年生は企画運営を念入りに行い、当日の進行等をスムーズに進めていました。



2月18日(水)

地域学校協働活動

1・2年 植林体験

3・4年 枝打ち体験

2月18日(水)、キーンと冷たい空気が張り詰める中、本年度も森林組合や愛林クラブの方々にご指導を賜りながら、1・2年生は植林体験、3・4年生は枝打ち体験をしました。雨天のため期日を延期しての実施となり、森林組合や愛林クラブの皆様、スクーバスの運転手さん方にはご迷惑をおかけしてしまいました。しかし、無事に活動を終えることができてよかったです。子ども達は、地域の方々と一緒にこのような体験をすることにより、矢部を支える林業の大切さ、山を守ることがどれだけ環境保全に役立っているのかを感じることができたと思います。本当にありがとうございました。

【子どもの感想より】
○しょくりんたいけんでは、できるかどうかしんどいだけだったけれど、1かいでできたのがうれしかったです。2年生になったら、もっとじょうずになるとおもいます。あいりんクラブのみなさんにくわの使い方をおしえてもらったのがうれしかったです。
(1年 さん)

○今日、しょくりんたいけんできさしくおしえてくださってありがとうございます。木が大きくなるまでは50年以上もかかると聞き、びっくりしました。わたしたちがうえた木が大きくなるのがたのしみです。
(2年 さん)

○先日は枝打ち体験を教えてください、ありがとうございます。私は、枝をのこぎりで切るのがとっても楽しかったです。イノシシがほった穴に落ちたり、かふんで鼻水が出たりして大変でしたが、がんばりました。ツルが木にまきついて、木をしめころすからツルもたくさん切りました。枝を切る前と、切った後ではぜんぜんちがいました。枝を切る前はうすぐらかったけど、切った後は明るくなっていました。私は、とってもすごいなあと思いました。
(3年 さん)

○今日は、ぼくたちに枝打ちを教えてください、ありがとうございます。木についていっぱい知ることができました(今日の木は11年目の木、出荷するのに70年かかること、枝打ちをする目的など)。イノシシがいっぱい穴をほっていたので、なんでもおっちょこしくなっていてびっくりしました。枝をいっぱい切ることができたのでよかったです。来年は下草がりをするので、安全に楽しくやりたいです。
(4年 さん)





国際理解教育推進事業 3月7日(金)



「お礼」ご支援ありがとうございます！



3月7日(金)「国際理解教育推進事業」において、福岡県国際交流センターから講師を派遣していただき、ブラジル(松本・エリダ・マリアさん)とモンゴル(マンダルワさんと妹さん)の音楽、文化に触れることができました。サンバのリズムに合わせて、陽気なダンスを一緒に踊り、そして、『スーホの白い馬』にも登場する馬頭琴とモンゴルの踊りを紹介してもらいました。聴いている子ども達の体は、自然に講師の先生の踊りにつられて動き出していました。

また、広川町で主任児童員をされている塩澄さんには、所有している様々な国の楽器や民族衣装を持ってきていただきました。子ども達は思い思いに楽器を手に取り、奏でるいろいろな音色に心躍らせました。あらためて、情操教育・異文化理解教育の大切さを感じたひとときでした。



【八女市教育振興会より】

図書館の本の購入に役立ててくださいと、八女市教育振興会より10万円を寄贈していただきました。童話や図鑑、小説など、1年生から9年生までが楽しめる本を購入しました。多くの子どもが読書に親しみ、心豊かにしてくれることを願っています。

【八女市地産地消推進協議会より】

卒業生一人一人に花束を贈呈していただきました。後輩から手渡してもらった花束を抱いて木龍(体育館)をあとにしました。

【JA 福岡八女矢部地区青年部より】

卒業生にイチゴ(あまおう)を一箱ずつ贈呈していただきました。

【ジャンヌマリー株式会社 代表取締役 大倉紀子様より】

世界子ども愛樹祭コンクールの最終選考委員でいらっしゃるジャンヌマリー株式会社の大倉様より、子ども達に300足以上の靴下やタイツを寄贈いただきました。サンプル商品ということで、全てが違うデザイン、柄で子ども達は、「わあ～ どれにしようかな? 迷う!!」と楽しみながら品物を手にしていました。

心温まるご支援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

「世界子ども愛樹祭コンクール」表彰式の開会式にて、前期課程児童は矢部民謡の会の方々と一緒に『公卿唄』を披露しました。また、閉会式にて、後期課程生徒(卒業生を含む)は卒業式で歌った合唱曲『YELL』を披露しました。

地球さんご賞八女表彰式

3月9日(日) おりなす八女大ホールにて

3月9日(日) おりなす八女大ホールにて、「地球さんご賞」表彰式が行われました。「子どもは未来を照らす宝である」と提言。子ども達の作品に込められた思いが、多くの人に伝わり、地球の自然や環境問題への意識や関心が高まっていくことを願います。

【福岡県八女森林組合長賞】 5年 さん
 「矢部村の自然を守るためにわたしたちができること」
 【奨励賞】 1年 さん 「やまめ」

受賞おめでとう!!

「福岡県学校給食レシピコンクール」の表彰式が九州芸文館で開催された「学校給食フェア」の会場で行われました。

【優良賞】

8年 さん
 レシピタイトル
 「さっぱりして
 食べやすい給食」

応募数2980点
 (県内の中学校)から
 10名が最優秀賞、優秀賞、優良賞に選ばれました。

福岡県学校給食レシピコンクール表彰式

3月2日(日) 九州芸文館にて

世界子ども愛樹祭コンクール表彰式

3月16日(日) 木龍にて



【世界子ども愛樹祭コンクール】

詩・作文の部	福岡県教育委員会賞	9年	さん
	長野ヒデ子賞	8年	さん
	福岡県森林組合連合会会長賞	7年	さん
	JA ふくおか八女組合長賞	7年	さん
	NHK 福岡放送局長賞	9年	さん
	西日本新聞社賞	9年	さん
絵画の部	福岡県議会議長賞	4年	さん
	福岡県教育委員会賞	6年	さん
	西日本新聞社賞	6年	さん
木はがきの部	JA ふくおか八女組合長賞	9年	さん